

# 平成30年産(29年播)麦生育情報 No.4 (H30.3.27)

(情報作成) 滋賀県農業技術振興センター

(次回は4月上旬の予定)

滋賀県近江八幡市安土町大中 516 (TEL:0748-46-4391)

## 1 気象経過と生育状況

### ① 気象の経過 (彦根气象台、平成20～29年の平均値との比較)

期間	要素	平均気温	日照時間	降水量
	2月	上旬	かなり低い	やや多い
中旬		平年並	多い	かなり少ない
下旬		平年並	多い	かなり少ない
3月	上旬	高い	やや多い	多い
	中旬	高い	多い	平年並

注) 平均気温 <±0.5℃:平年並、±0.5～1.0℃:やや高い(低い)、±1.0～2.0℃:高い(低い)、±2.0℃<:かなり高い(低い)  
 日照時間 <±5hr:平年並、±5～10hr:やや多い(少ない)、±10～15hr:多い(少ない)、±15hr<:かなり多い(少ない)  
 降水量 <±10mm:平年並、±10～20mm:やや多い(少ない)、±20～30mm:多い(少ない)、±30mm<:かなり多い(少ない)

### ② 生育状況

農業技術振興センター麦類作況調査では、11月6日播の「農林61号」、「ふくさやか」ともに平年に比べて草丈はかなり短く、葉数は少ないものの、茎数は多い。3月以降気温が平年より高く経過したことにより、1か月程度遅れていた生育は2週間程度にまで追い付いてきている(表1および後掲グラフ)。

表1 平成30年産(29年播)麦類作況調査の結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種名	年次	2/15 調査			3/15 調査		
		茎数 (本/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)	葉数	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)	葉数
農林61号	H30年産	692	15.7	4.6	860	20.9	6.5
	平年(参考)	764	20.8	6.1	747	31.6	7.6
ふくさやか	H30年産	680	13.7	4.5	782	18.2	6.4
	平年(参考)	719	19.1	6.3	706	32.3	7.9

※播種日:平成29年11月6日。

※平年(参考)はH20～29年産(H19～28年播)の10年間の平均値。

※播種量はH23年産(H22年播)までは10kg/10a 散播(全面全層播)、H24年産(H23年播)以降は8kg/10a 条播(条間25cm、ドリル播)。

☆3月26日現在の「農林61号」と「ふくさやか」(農技センター作況調査)



「農林61号」



「ふくさやか」

## 2 県内の状況

- 2月上旬までは気温が低く経過したため、平年より生育量は小さかったが、それ以降は一般に気温は平年並～高く、日照時間は多く経過したため、生育は平年並近くにまで回復してきている。
- 11月上旬までに播種されたほ場と11月中旬以降に播種されたほ場では生育量の差が大きく、特に県北部の播種が遅かったほ場では、茎数は少なく、生育量が不足している。

## 3 今後の管理

### (1) 排水対策

- 排水不良は、根の伸長が不十分となって登熟期にまで影響が及び、収量および品質低下を引き起こすので、溝に水がたまっている場合は溝さらえを行うなど、**引き続き徹底した排水対策**を講じる。

### (2) 六条大麦の止め葉出葉期追肥

- 六条大麦では、**止め葉が出始めた頃(出穂15日前頃)**に窒素成分で**2kg/10a程度**施用する。
- 基肥一発体系の場合は止め葉出葉期追肥を施用する必要はないが、**分施体系の場合は4月初旬までに施用**する。施用時期が遅れると硝子粒の発生が多くなるので注意する。

### (3) 小麦の実肥

- 小麦の実肥は、**開花期(出穂10日後頃)**に窒素成分で**3～4kg/10a**施用する。

(留意点)

- ①3月中旬時点で生育は平年より2週間程度遅れているが、向こう1か月の気温は平年より高くなる確率が60%と予想されており、**出穂期は平年並からやや遅くなると見込まれる。**

- ② 3月中旬時点で11月上旬播種「農林61号」の実肥施用適期は4月末日と予測しているが、播種時期や地域により生育に大きな差があるので、今後の栽培管理の判断は、気象予報に注意を払いながら、麦の生育状況をよく見て対応する。
- ③ 実肥施用量は、**茎数が多いほ場（約300本/m<sup>2</sup>以上）では窒素成分で4kg/10aとし、それより少ないほ場では2～3kg/10aに減らす。**
- ④ 3月下旬～4月上旬に葉色が淡く茎数が少ない場合は、収量を向上させるために出穂7日前（走り穂が出る直前頃）に窒素成分で2kg/10a程度追肥し、さらに出穂10日後（開花期）に2～4kg/10aの実肥を施用する。

【参考】 平年(直近10年間)の出穂期（麦類作況調査：近江八幡市安土町大中11月5日播種）  
「農林61号」：4月17日、「ふくさやか」：4月14日

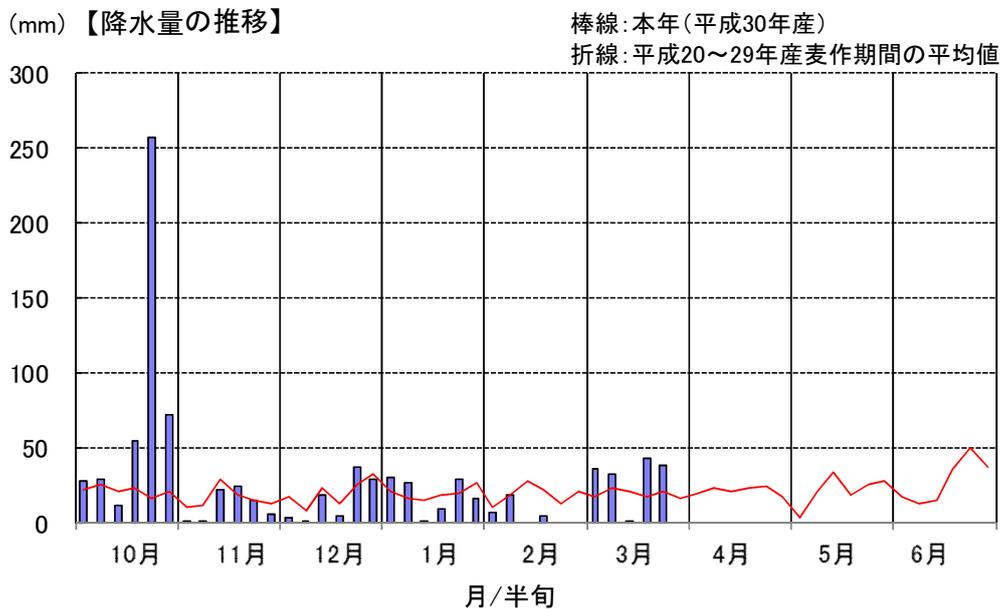
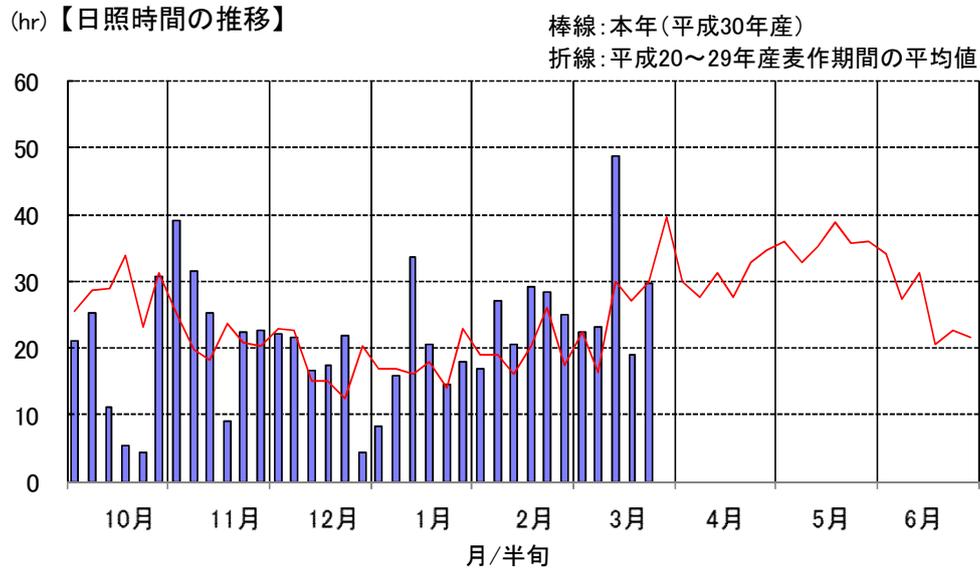
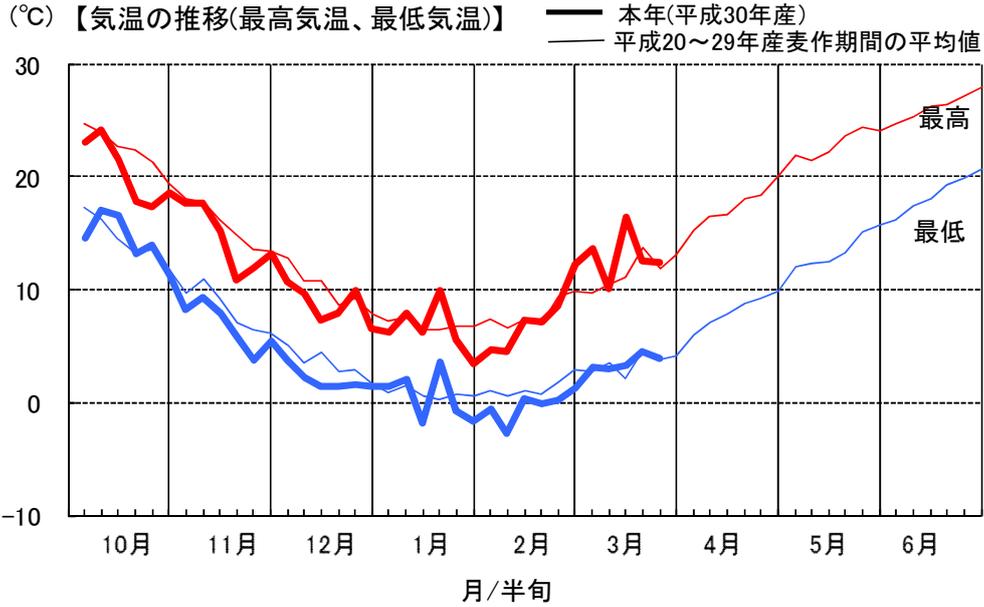
#### （4）赤かび病防除

- 小麦および六条大麦では開花始め～開花期に、二条大麦では穂揃い10日後頃に農薬を散布する。
- 散布後降雨が続く場合は、1回目の散布1週間後頃に追加防除を行う。

##### 【参考サイト】

農業技術振興センター	<a href="http://www.pref.shiga.lg.jp/g/nogyo/">http://www.pref.shiga.lg.jp/g/nogyo/</a>
病虫害防除所	<a href="http://www.pref.shiga.lg.jp/g/byogaichu/">http://www.pref.shiga.lg.jp/g/byogaichu/</a>
彦根地方气象台	<a href="http://www.jma-net.go.jp/hikone/">http://www.jma-net.go.jp/hikone/</a>
異常天候早期警戒情報	<a href="http://www.jma.go.jp/jp/soukei/">http://www.jma.go.jp/jp/soukei/</a>

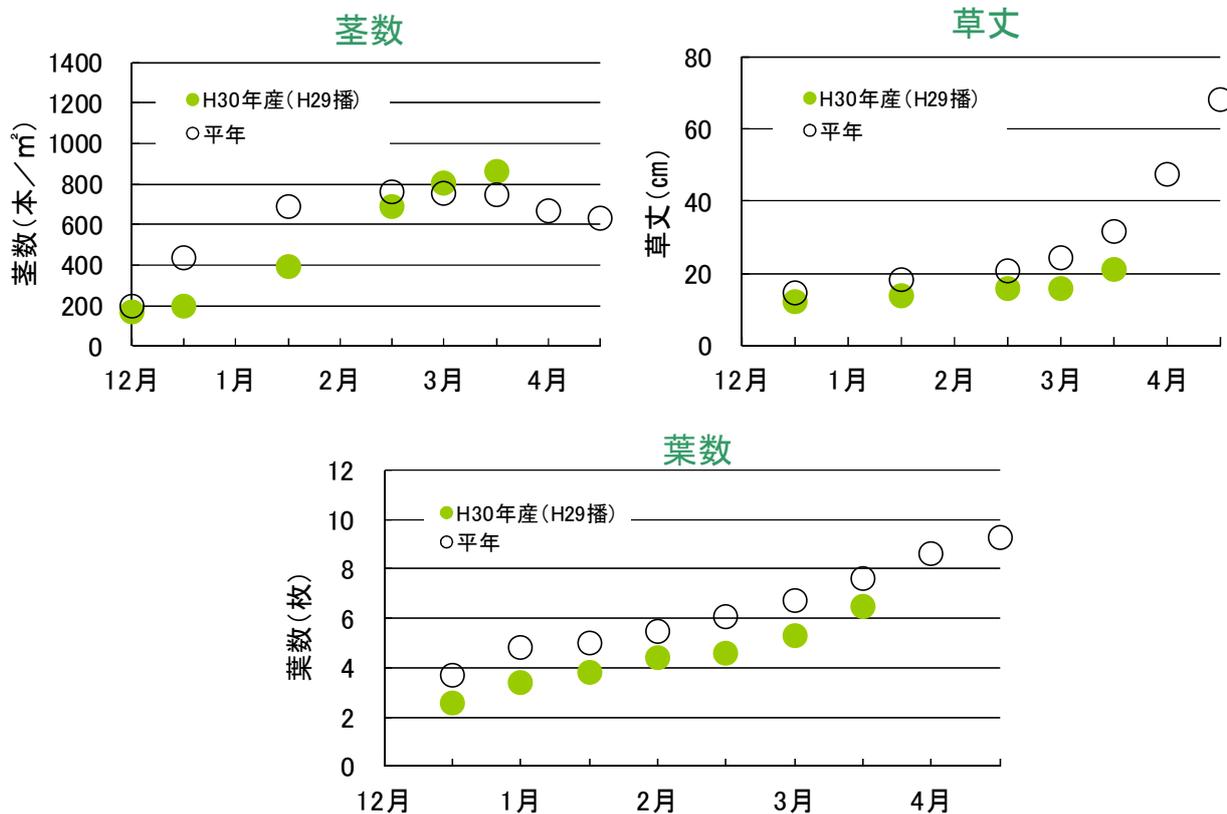
平成30年産(平成29年播) 麦作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)



# 平成 29 年産生育調査結果（1）

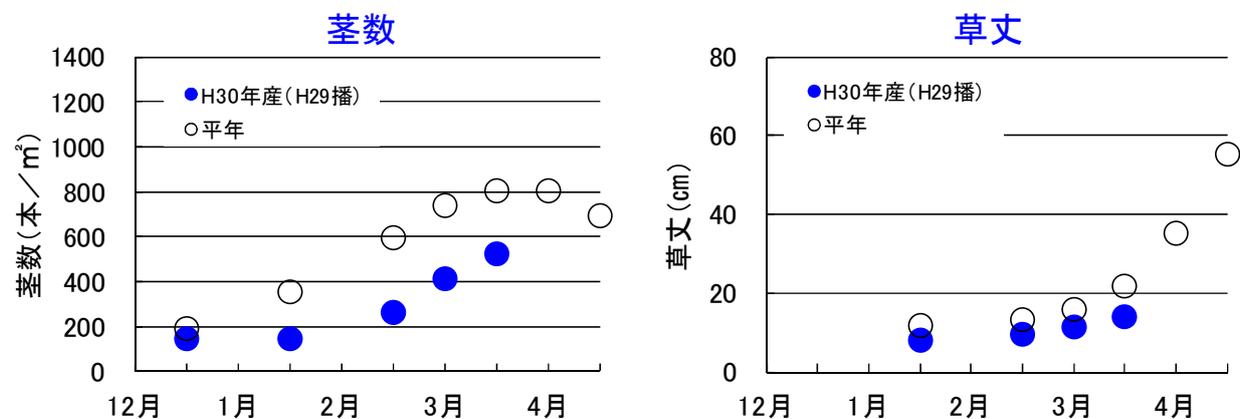
## 「農林61号」

平成29年11月6日播



(参考)

平成29年11月22日播

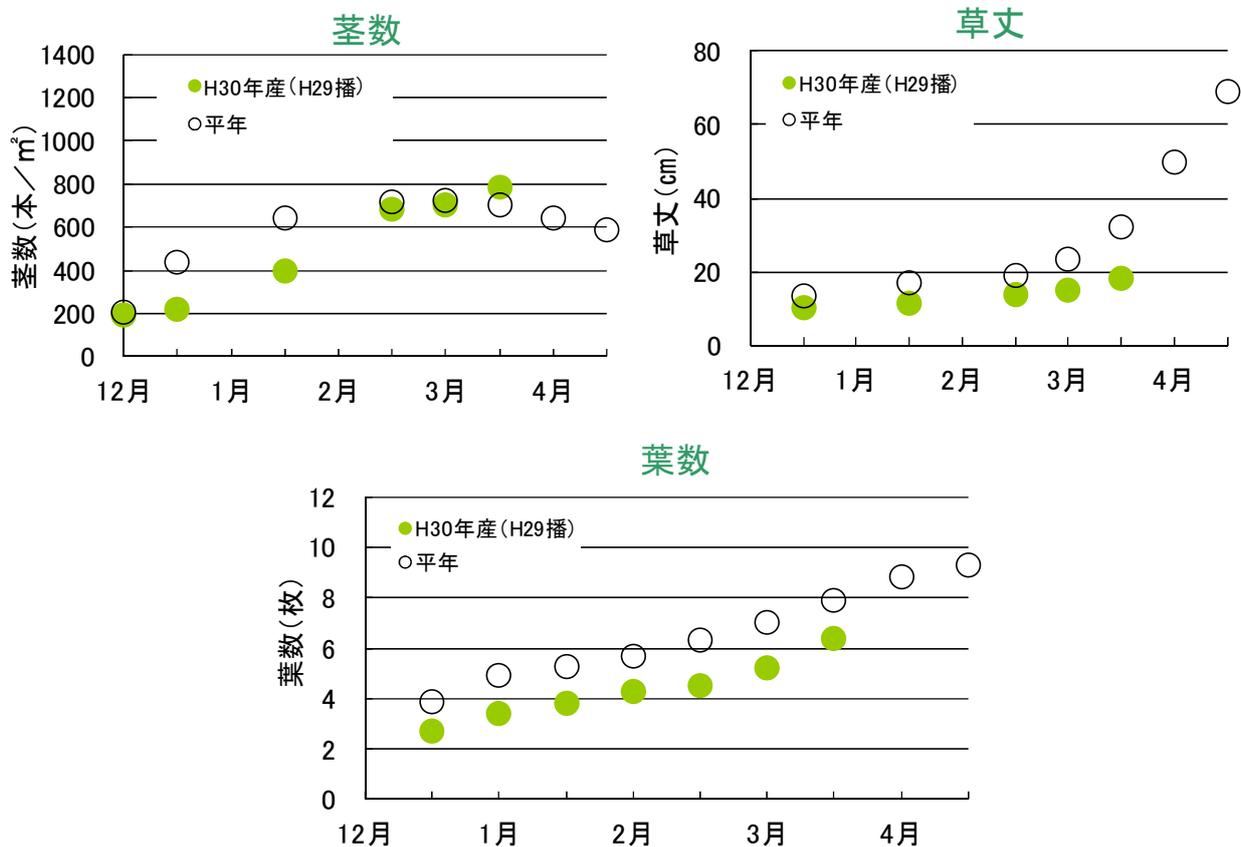


※「農林61号」の草丈、茎数、葉数の平年値は、平成20～29年産(平成19～28年播)の10年間の平均値。  
 ※播種：平成24年産(平成23年播)から8kg/10a、条播(ドリル播)。平成23年産(平成22年播)までは10kg/10a、散播(全面全層播)。

# 平成29年産生育調査結果（2）

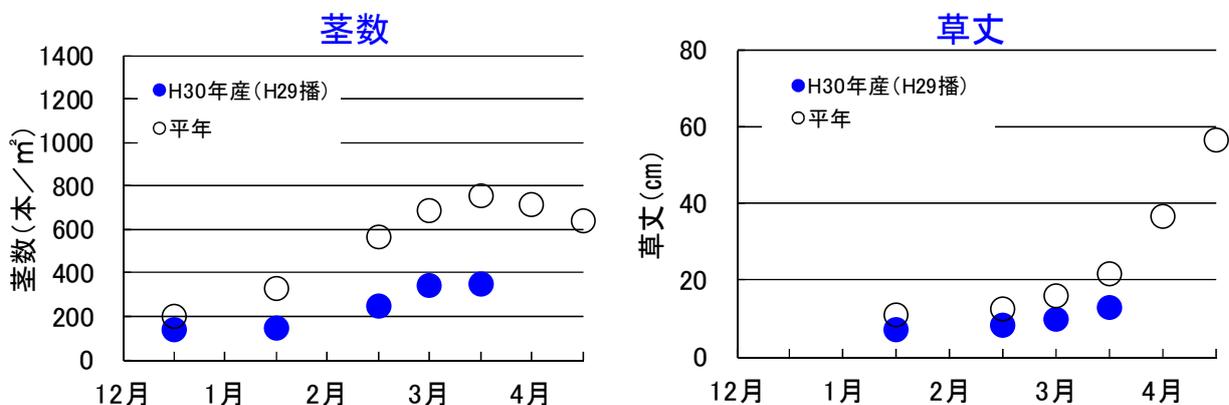
## 「ふくさやか」

平成29年11月6日播



(参考)

平成29年11月22日播



※「ふくさやか」の草丈、茎数、葉数の平年値は、平成20～29年産(平成19～28年播)の10年間の平均値。  
 ※播種:平成24年産(平成23年播)から8kg/10a、条播(ドリル播)。平成23年産(平成22年播)までは10kg/10a、散播(全面全層播)。